

チッタゴン丘陵地帯ランガマティ県ナニア Chol 郡ボガチヨリ地区の先住民族の村々におけるベンガル人入植者による放火事件およびカプタイ郡チットモロム地区におけるベンガル人による先住民族女性の強姦殺人事件に抗議する在日バングラデシュ丘陵先住民族の声明文

敬愛する市民の皆様

チッタゴン丘陵地帯（ランガマティ県、カグラチヨリ県およびバンドルバン県）はバングラデシュの特異な地域であり、先住民族 16 民族とともにヒンドゥー教徒、イスラム教徒、仏教徒、キリスト教徒が住んでいます。長年にわたりこの地域でバングラデシュ政府は丘陵に住む 16 の先住民族に対して様々な抑圧を行ってきました。特に既得権をもった極端に人種差別的な反動的勢力によって、そして何よりも軍隊の指図によってチッタゴン丘陵地帯は支配されています。反動的で極端な熱狂主義者の扇動によりジュマ民族の一般市民に対する迫害や弾圧は恐ろしい形相を呈しています。このためチッタゴン丘陵問題の政治的手段による解決という目標の達成の可能性は遠のいています。今日、このような状況下でチッタゴン丘陵地帯の丘陵民は毎日のように土地収奪、放火、女性に対する暴行、濡れ衣訴訟などの迫害・弾圧を受けており、治安維持の名目で至るところに軍の駐屯地が建設されています。このため、ジュマ人民の間で不満と絶望が急激に怒りへと姿を変えています。

親愛なる友人の皆様

皆様の多くは、私たちがなぜ、このような抗議デモを行っているかご存知ないでしょう。昨年 12 月 16 日に行政と軍に扇動されたベンガル人入植者によって丘陵民の家々が放火され、カプタイ郡チットモロムで先住民族女性がベンガル人によってレイプ後に殺されました。悍しい恐ろしい事件です。さらにウットロン作戦の下で軍による抑圧と弾圧が行われています。このためジュマの一般市民の生活はめちゃくちゃにされています。

このため私たちは、次のとおり、要求します。

- A) 陸軍の仮設駐屯地を引き上げること。
- B) ベンガル人入植者をチッタゴン丘陵から平野部に再定住させること。
- C) 土地収奪をやめさせること。
- D) 被害を受けた丘陵民が生活を立て直せるよう支援すること。
- E) 女性に対する暴行を取り締まること
- F) 濡れ衣訴訟を撤回すること
- G) バングラデシュ憲法で丘陵民を先住民族として認知すること。
- H) チッタゴン丘陵和平協定を適切に実施すること。

呼びかけ：日本在住のバングラデシュ出身のジュマ先住民族一同

2015 年 1 月 9 日